館報
# かわべ

発行所
河辺村公民館

編集
公民館編集委員会

◎出生（9月）
部落　氏名　父
横山　松本志保美　松本信衛
宮谷　松田真木子　松田　栄

◎死亡（9月）
川上　藏田クニ　68才
帯江　山本春吉　83才
上名場連　池田悦雄　6才
坂本　渡部駒若　94才

## ごあいさつ

大干ばつの夏が過ぎ、清冷の秋となりました。干害を受けられました皆様に心からお見舞いを申上げますと共に、この天災に負けず、益々一家の繁栄と幸福のためにご健斗を念願して止みません。

今回河辺村公民館が設置され十月一日より新発足いたしました。申すまでもなく公民館の使命は、「村全体の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与すること（社会教育法二十条）」であり、その意義は極めて深くまた非常に重要な仕事であると信じます。

従つて公民館は、役所でも、事務所でもなく、住民が相集つて教え合い、導びき合い、互いの教養文化を高めるための民主的な機開であり、また住民の親睦交友を深め、相互の協力和合を培い、村の自治向上と、明るい希望のある平和な家庭づくり、村づくりの基となるべき社交機関でもあります。

その意味におきまして、公民館は、あくまでも住民全体のものであり、その活動も全住民を対象として、諸般にわたり適切なる計画と運営が必要であり、その目的達成のためには、特に村内各種の機関、並びに婦人会、青年団等の文化団体の積極的な参加と、協力指導が切望される次第でございます。

幸いにして、村当局の熱意ある御努力により本村公民館の基礎づくりが出来ましたことは、村民の皆様と共に感謝と慶びにたえません。

今後以上の趣旨のもとに、郷土振興の基礎づくりを推進するため、村内の実情や、住民の生活状態等に最も適合した、弾力性のある運営活動に、最善の努力をいたしたいと思います。

どうか皆様の温かい御理解と御協力を切にお願い申し上げまして御挨拶といたします。

（館長）

写真は十月六日公民館開館式典を行った記念撮影

## 美しい集合

あるとき私は、生長の家の講習会に行つた。某銀行の支店の二階が会場であつた。集会用に作られた部屋でないので、階段も狭いしげたをおくところもないので、階段の両側に二列におくことに誰が指示したともなく、最初の方々が二列におき始めると、皆んなそれにならつてキチンと列べておいた。既に二〇〇人位が全くギツシリの会場である一月十八日で肌寒い日であつたが、むしろ席一杯で暖かい位であつた。

演壇には寒菊の花が花瓶にさしてあつた。聴衆は主に信者であるが、講師が総裁？、会長さんなので有名人だから百人位は一般人もみえていたと思う。聴衆のほとんどが、筆記具をたずさえていて熱心にノートしている。静かに立つて用便に行つたり呼出しがあつて出入する方もある。人前をよこぎる人の作法のよさ入室のときのおじぎも忘れない。会が終つて退席するときも、いささかの混雑もない席末から順序よく出て行くのである。げたが変つた、靴がないなど言う人もないその内幹部の人か世話人の方かが掃除を始める。出るのを待つている人が、すぐ箒を取つて変つて掃除をする。私はこの光景をみて全く感心させられた。何と言う美しい集会かなと。階段を下りたら、老人の手を引いていたわつて帰る人の姿をみた。

外はチラチラ雪が降つている。午後三時半。愛宕山から夜昼峠にかけての峰の松の木に白雪が積つていた、

今時社会道徳がやかましくいわれている。社会人の一人一人がその気になれば前記のような美しい集会がもてるはずだし、旅に行つても気持ちがよいに違いない。「お互いが気をつけ合う」、これ以外に社会道徳はない。日本人は民族同胞（兄弟）の考え方が昔からあるのに社会道徳が行われないのはどうしたことか、お互いは静かに胸に手を当て、反省すべきではないでしようか。

N生

## お施餓鬼風景

八月はお盆の月。新亡の仏様への供養がせがけと言う年中行事の一つになつている。

八月八日は毎年本願寺のおせがけです。朝十時頃からハイドーラが始まる。まだ参拝の人々はまばらであつた。刻々と時は立つ、お弁当を提げた主人婦人子供と次第に人がます。ハイドーラが鐘と太鼓で奏せられる。にぎやかな音楽である。寺の入口辺から庭ばしに、氷、こま物、菓子、金物等の店が並ぶ。陽の光はようしやなく店頭に照りつける。時々「ヨーオイ」「アーナンマミドー」の声がそう思うときけば聞える。

かねと太鼓の音がやむと、大蟬小蟬が寺の前のコガネの木の茂みから今日のお念仏を伴に申上げているようにきこえる。

昼前には、さしもに広いお寺も超満員、本堂裏の仏壇のあたりまで一杯の人出となつた。浴衣がけの人人、うちわと扇子の動く波、香のにおい年に一度の施餓鬼だから壇徒中の善男善女のお参りがあるのだろう。

午前中一切りのお尚さんのお勤めがあつた。仏様もさぞ今日は大喜こびで、この供養を受けているに相違ない。寺の北すみに新しい仏様のため水祭りが行なわれている。精霊棚が設けられている。巾広い芭蕉の葉を敷いて、はぎやしきみが立てゝあり、新しい塔婆が並べて祭つてある。菓子、果物、西瓜等のお供も色々のものでおいしそうだ。

昼から後は新亡の念仏が始められた。各当家族親族の人達が次々と焼香される。ねんごろの読経が四人のお尚さん達による汗を流してのご奉仕夏のお祭りは真にご苦労様である。

午後四時頃とどこおりなくおせがきもすんだ。今年は鐘は三久保が頭の当番であり稲田村長も戸田社教主事も汗だくでご奉仕した。

N

## 文芸　短歌

### 初秋の歌　長塚節集より

小夜深にさきて散るとうひえ草のひそやかにして秋さりぬらむ

植草ののこぎり草の茂り葉のいやこまやかに渡る秋かも

目にも見えずわたらふ秋は栗の木のなりたるいがのつばらつばらに

秋といへばたとえば繁き松の葉の細く遍く立ちわたるめり

馬追虫のひげのそように来る秋はまなこを閉じて想い見るべし

外に立てば衣うるほふべしこそ夜空は水の滴るが如

おしなべて木草に露の置かむとぞ夜空は近く相迫り見ゆ

からくして夜の涼しき秋なればひるはくもゐに浮きひそむらし

芋の葉にこぼるる玉のこぼれこぼれ子芋は白く凝りつつあらむ

青桐は秋かもやどす夜さればさはらさはらと其葉さやげり

## 小さい子供には☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆おとぎ話しを☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

子供の心は素直で、単純で、善に強く、悪を憎み、同情的です。自然物も人間と同じように考える、即擬人的です。変転怪異もそのまゝに受けとります。ですから、おとぎ話しは大変興味をもつて聞くものです。

おとぎ話、昔し話はくり返し〳〵話すことがよいのです。度重ねてしよると、子供は、自然におぼえるようになります。そして、その次は……その次は何々……と、心の中で想像しては聞くようになります。智恵の伸びる大本である。想像の力も養われます。そして美しい情操も養われます。コロ〳〵と変り易い、注意力も集中するようになります。又正義感も養われます。三才児教育は一生の土台となる。小学の一二三年までで学問の土台が築かれるとき話しを教えてあげて下さい。昔からのおとぎ話しで結構です。桃太郎さん・花咲じいさん・大黒さんと白兎・天の岩戸・金太郎・した切雀・もちの的・弁けい・四十七士・浦島太郎等々があります。尚偉人の出世談のようなものも結構です。が但し偉人の内何を強調するかをよくよく考えて話すことが大切です。偉人談はよほど検討を要します。はうまく話しこなすことです。学校に上つても社会科に興味を持つようになりますことは確です。

学者は言つています。おとぎ話しで、想像力、美的情操、注意力集中性、正義感、同情心が培かい養われるとすれば、真に大切なおとぎ話しです。

お父さんお母さんは、どうか上手な話し手となつて下さい。繰返し〳〵して下さい。尚、保育所、幼稚園の先生はその指導者たることを自認下さつて、参観日等のときに父兄に、よいおとぎ話しを教えてあげて下さい。

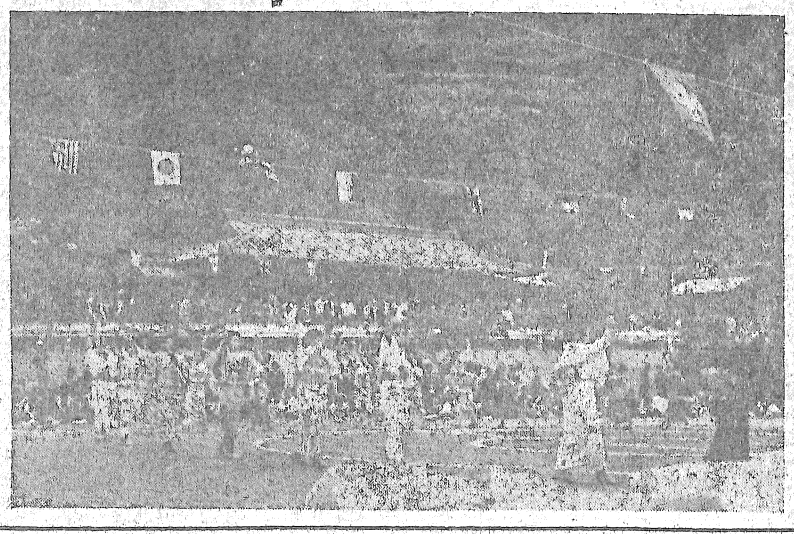
## 楽しかつた盆おどり

八月十六日、植松、北平分館を皮切りに、十七日は大伍分館、二十三日は坂本分館を最終に、村内一千余人の参加を得て、夏の夜の一ときを楽しく過ごすことができた。

盆踊りといつても、他村のそれとは異り、昔から伝わる在来の踊りと新しいものと入りまぜておどつたので年よりの方々も多数参加して戴き、本当に老若男女が二重の輪を作つて、共共に楽しく踊ることができて、どの分館とも盛んな盆踊りでした。主催者としては十分目的を達したと喜こんでおります。在来のおどりも大変よいおどりですし、古い民俗芸能は保存すべきでもあるので将来ともに新旧いれまぜて踊りたいと思つています。毎年盆おどりは続けたいと思つていますから古いおどりを忘れないで来年またおどつて下さい。

分館長さん村政委員さん婦人会班長さん学校の当直者さんなど数多い方々の大変なお世話になりましたことを厚くお礼申上げます。

（写真は十月十日体育の日に第四回村民運動会を大伍小学校々庭で盛大に行われた婦人会の手踊り風景）



# ▼普及だより▲

## 今年の稲作の反省

稀有の大旱魃による本村の農林産物の被害額は、実に九千二百五十万円に達しました。

稲作部門を考えますと、七号台風による埋没田と旱害田が約二〇〇アールとなりましたが、村全体の稲作実収は平年収量比が一〇五%と見込まれ、先は豊作年と云わなければなりません。

今年の増収の要因は色々ありますが、その最たるものは旱魃による水源不足から、嫌でも浅水管理となり間断灌水となつて、水稲の根の発育生理が良好だつた結果に他なりません。

今年の旱魃の教訓として来年度からの稲作管理は是非共、浅水管理とし、中干励行、病害虫の早期防除を肝に銘じることが大切でしよう。特に病害虫防除の面で考えられることは、個人防除では効果が半減することを、各部落毎に痛感されておりながら、一斉集団防除や、計画的な共同防除が実行されないのは残念でなりません。

各部落毎に適切な話し合いをされ、明年から是非とも能率的で、しかも防除効果を高める為に努力されるようお奨めします。

小部落で共同作業が不可能とあつては、大字単位の団結も和合も不可能であり村民の真の和合一致は望めません。

## 麦を笑う者麦に泣く

近年特に麦作軽視の風潮が高く、裏作放棄の田畑が年毎に増加しています。

和牛の自給飼料として、又味噌、醤油の原料に必要な麦を今一度見直すことが大切であると思います。

品種の選定は、多肥栽培は愛媛裸一号を、少肥栽培では愛媛裸三号、小麦は農林五一号がよく、良質多収栽培には香川裸一号、ユウナギ裸、新淡路が本県の奨励品種です。

種子更新は四年目毎に致しましょう。

○種子消毒の励行

| 病名 | 薬剤名 | 方法 |
|---|---|---|
| はだかくろほ病 | 温湯浸法 | C50度に8分後、C55度に5分間 |
| うんもん病 | リオゲン | 千倍液三〇分 |
| 赤カビ病 | ルベロン | 二千倍三〇分 |

## 地力増強に硅カル

近年稲作の問題点として青枯症状、穂枯症状が増加して来ました。青枯症状は出穂後二〇～三〇日頃に、過繁茂で根ぐされを起している稲が、低温で強い乾風にあうと白く枯れ上がる症状であり、穂枯症状は登熟中期頃から穂部が変色して熟色が悪くなるもので枝梗イモチ病と混同され易いがこれはゴマハガレ病菌や、ホルムデンドロムに基因して発生する。これを防ぐには、堆厩肥の施用、硅カルの施用による土壌改良が最も大切である。

昨年と今年、村内で反当一五〇～二〇〇瓩施用された田では、ゴマハガレ病やイモチ病が激減して、反当三〇～六〇瓩の米を増収した実績が判然としている。

是非共、来年度の試用をお奨めする次第です。

河辺八景の一つ蛇淵景の一部「都々呂岩」その近くに都々呂橋が本春架設された

## 果園の冬期管理

①落葉処理

栗、柿、梅等は既に落葉が始まり十一月中には殆んど終る。この落葉の中には各種の病菌や害虫が寄生しており、翌年の第一次伝染源となる。従つてこの落葉や落毬は予め掘つたタコツボに、落葉の度合いを見ながら数回に分けて集め、埋没したタコツボの上には十分の覆土をしてやる。

回深耕のお奨め

深耕、有機物の埋没には多大の労力と資材を要するためと、その効果が直ちに現われないため、なかなか普及されにくい。

しかし、土壌中の空気含量が多くなり、土壌の粒団が促進される。そのため保水力、肥効が高まり、細根分布範囲が拡大され、根群量が増加するので樹勢が旺盛となる。従つて収量が増加し、経済的樹令も延長されるなど利点が多い。農閑期を利用して深耕は是非励行されたいと念じている。

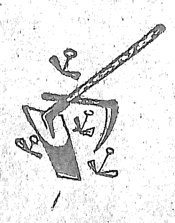
ハ旱害からの寒害防止

今年の旱害は老、若、幼木を問わず樹皮が日焼けをおこし、胴枯病の誘因ができている。

特に幼木は凍害防止のため主幹を藁で巻き保護してやる親切心が欲しい。

剪定は軽く間引剪定とし切りすぎぬ様に注意する。

（文責＝石山主査）



## ××労災には必ずはいって下さい××

今は機械化の時代ですから、どんな仕事でも機械を使わねばなりません。従つて一寸した油断が事故をうみます。

けがをした後では、どんなにくやんでも仕方がありませんから今からすぐ様労災にはいつて下さい。安心して働けるようにして下さい。

万一の場合を考える人こそ、かしこい人です。ところばぬ先のつえとも申します。事業主ともお話し下さつて、法律で強制的に入ることになつているのですから是非労災だけははいつて下さい。

実態調査をしてみますと労災にまだはいつてない方が大変多いことに驚きます。

労災に入つておけば本人も家族も安心しておられます。善は急げで明日とは言わず、すぐに労災にはいつて下さい。それが皆様やご家族様方のためになります。

ふとしたまちがいで片手を落したらどうしますか。老父母妻子がどうなるか、あなたばかりの身ではない。責任の重いあなた方です。どうか十分お考え下さつて労災にぜひ入つて下さい。又六ケ月以上連続で働く方には失業保険にも入つておく必要があります。生命保険も結構です。万一のとき、少々のかけ金で大金の保証があります。

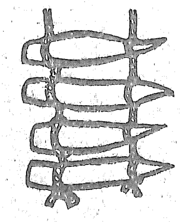
働く人には労災は法的にも必ず入る性質のものです。特におすゝめ致します。

次に職場を変える時には必ず職業安定所を通じて変つて下さい。安心してよい職場があるでしよう。素人に委かせず自らよい職場をみつけて下さい。

働く皆様

一、労災には必ずは入つて下さい。安心して働けます。万一の事故に備えて下さい。

二、今の職場がいやになつて変る時は、必ず職業安定所を通じて変つて下さい。だまされてひどい目にあわない様に祈ります



# 西川林業を訪ねて

林業改良指導員　城戸善八郎

集約的な短伐期育成林業で有名な西川方式を本村にも取り入れて、少しでも森林所有者の社会的経済的地位の向上に資するため、八月二十七日村内の篤林家組合役職員で総員二十一名で埼玉県飯能市吾野地区へ研修を行いました。

## 西川林業の生たち

三〇〇年の伝統を誇る西川林業は小角材、足場丸太の生産で有名です。遠く江戸幕府が入間川流域の用材の供出を命じたのに始るといわれておりいかだにより江戸へ用材を流送したので、江戸の人には西の方の川から来る材との意味で、西川材というようになつたそうである。また有名な日光東照宮の杉並木は主として名栗川流域の苗木を植栽し、植栽指導にも当地方の林家が指導したものといわれています。

## 地域のあらまし

埼玉県の中央部を貫流している荒川の支流、入間川、名栗川、高麗川、越辺川の水源地帯を総称するもので一市三町一ケ村からなり、その面積三万町歩のうち七二%の二一、五〇〇町歩が山林で地質も河辺村と同じ秩父古生層で気温は年平均十四度で、気温についても本村によく似ている。

降水量は一八〇〇ミリ～二〇〇〇ミリ標高も五〇〇メートル～一二〇〇メートルで殆んど同じ程度ですぎ、ひのきの生育に適している。主な樹種は杉、ひのきで杉六五%、ひのき三〇%、その他五%で全体の七〇%が人工林で、所有別では九六%私有林で、所有者数は七六〇〇で平均二町六反、田地は殆んどなく畑が三反位で、殆んど林業で生計をたてているようです。

一戸当りわずか二町六反で生計がたつということは、如何に有利に経営しているかということがお解りになつていただけると思います。なおわずかに余ゆうの労力を出稼にまわしているようです。

## 木の仕立て方

造林のねらいは、短伐期経済林におき一町歩当り四五〇〇本～五〇〇〇本位で、植栽樹種は主として杉、ひのきが植栽されている。五尺植で四、五〇〇本です。

## 保育作業のあらまし

①下刈り

昔から丁寧におこなわれ成林するまでに、一町歩当り一二〇人～一五〇人位の労務をかけています。

②掘かけ

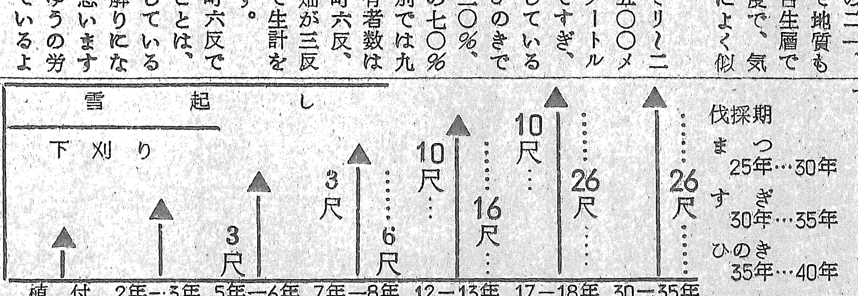
植栽してから二年～三年のとき苗木の根元に唐鍬で土をよせ集め、苗木をひつぱりながら苗木の根元をふみ固める。

③杉おこし

根曲りを防止する作業で下刈、掘かけ、枝打ちともに、通直な西川材を生産する原動力となつています。

④枝打ち

左図の通り行われていて通直無節材が生産されています。




④伐採のやり方

主伐は普通杉三〇年、ひのき三五年位であるが、所有者の事情、立地条件により一定しないが、伐採は春伐三〇%秋伐七〇%の二期で立木処分が行われ、伐採木はリンと称する棚積にして乾燥する。当地方では、伐採のとき(立て木)として不時の入費にそなえて、一反歩に数本残す保残木作業をおこなつている。

## むすび

以上が見たまま聞いたままの西川林業の概要でありますが、私が私なりに感じましたことを申しますと、如何に三〇〇年の伝統をもつとはいえ、どの林分を見ても、いつせいに保育管理の行き届いている点に頭の下る思いがしました。

これひとえに指導者の指導よろしきは勿論森林所有者の深い理解と長年の忍耐努力のたまものと思いました。

この点本村の場合も自然的条件が西川に類似しておりまして又経営規模においても、本村の方が条件が良い方ですので森林所有者の方々の林木に対する愛情と深い御理解と不屈の精神で御努力いただけますれば、将来西川にも負けない優秀な河辺林業が創設出ることを期待してやみません。

### バス発車時刻表(国鉄)

| 出合 | 行先 | 出合駅 | 行先 |
|---|---|---|---|
| 6.39 | (山王より)大洲平野 | 9.35 | 一のせ |
| 8.00 | (一のせより)鹿の川 | 16.05 | 〃 |
| 10.45 | (一のせより)大洲駅 | 18.15 | 〃 |
| 15.47 | (山王より)〃 | 14.56 | 山王 |
| 17.15 | (一のせより)大洲鹿の川 | 19.0' | 〃 |

注意・山王よりの便は蛇渕で乗降りすること

### 大洲駅より辺辺村への便(国鉄)

| 大洲駅 | 行先 | 鹿の川 | 行先 |
|---|---|---|---|
| 7.15 | 一の瀬 | 13.15 | 山王 |
| 14.25 | 〃 | 17.20 | 〃 |
| 16.20 | 〃 | | |

注　大ズより鹿の川への便は一時間一回以上あり・鹿の川より河辺へはタクシーあり・植松まで約20分

### 鹿の川駅より河辺村への便(国鉄バス)

| 鹿の川 | 行先 | 鹿の川 | 行先 |
|---|---|---|---|
| 9.00 | 一の瀬 | 14.20 | 山王 |
| 15.30 | 〃 | 18.25 | 〃 |
| 17.40 | 〃 | | |

### 鹿の川より各方面への便

| 国鉄鹿の川 | 行先 | 鹿の川 | 行先 |
|---|---|---|---|
| 5.50 | 汽車　大ズ駅 | 14.00 | 汽車　大ズ駅 |
| 6.50 | 〃 | 15.30 | 〃 |
| 7.20 | 〃(2便あり) | 16.30 | 〃 |
| 8.10 | 〃 | 17.40 | 〃 |
| 9.20 | 〃 | 18.25 | 〃 |
| 10.20 | 〃 | 7.20 | 大谷　白石 |
| 11.25 | 〃 | 16.30 | 〃 |
| 12.20 | 〃 | 19.20 | |
| | | 12.35 | (土曜日のみ) |

### 鹿の川より坂石・日吉・野村方面の便(国鉄)バス

| 鹿の川 | 行先 | 鹿の川 | 行先 |
|---|---|---|---|
| 7.12 | 坂石 | 14.17 | 坂石 |
| 8.17 | 〃 | 17.12 | 〃 |
| 9.17 | 〃 | 17.32 | 〃 |
| 11.02 | 〃 | 18.22 | 〃 |

### 鉄道便(伊予大洲駅)○印急

| 上り 大洲駅発松山 | 高松行 | 下り 大洲駅発宇和島行 | |
|---|---|---|---|
| 6.01 | 13.03○ | 7.08 | 16.21○ |
| 7.13 | 13.43○ | 8.10 | 19.34 |
| 7.07○ | 14.08 | 9.28 | 17.04○ |
| 7.42○ | 16.09 | 9.56○ | 17.46 |
| 8.09 | 16.52○ | 11.14 | 18.14 |
| 9.00○ | 17.15 | 12.45 | 19.22○ |
| 9.41 | 18.00 | 13.05○ | 20.03 |
| 10.26○ | 19.34○ | 14.20 | 21.05 |
| 10.41 | 20.51 | 14.40 | 21.45○ |
| 11.28 | 21.57 | 15.22 | 22.53 |
| 12.37 | 23.10 | 16.35 | 23.09○ |